

Media Guide



ものづくり・産業技術専門誌

JETI
ジェティ
Japan Engineering & Technology Intelligence

KEYWORD

- 多業種** ケミカルからロボット、ライフサイエンスまで幅広い分野を網羅
- 最新** 最新の技術論文、企業・製品情報を掲載
- リーチ(購読)** 企業の研究員から企業経営陣、大学教授まで全業種の研究機関へリーチ
- 時事** 企画シリーズ内では最新の技術動向、価格動向、特許動向を分析します

主な企画テーマ

自動車技術・材料

電子技術・材料

(IT・AI・ロボット・表示技術含む)

エネルギー技術

(新エネ・省エネ・二次電池・燃料電池・電力・ガス含む)

環境技術・材料

ナノ技術・材料

(セルロースナノファイバー、他)

測定分析・評価技術

建築技術・建築材料

ライフサイエンス産業

洗浄技術・洗浄剤

水処理・排水処理技術

ケミカル産業

高機能樹脂・フィルム材料(分離膜含む)

ゴム・エラストマー材料

ファインケミカル産業

触媒材料

塗料技術・材料と塗装技術

接着剤と接合技術

難燃技術・難燃剤

※月刊共通の新企画記事(特許動向、科学技術文献動向、海外動向、地方創生動向、大学・団体・研究機関等の開発、新電力動向、価格動向、技術経営、その他)

月刊 JETI 媒体概要

- 創刊：1952年
- 発行：毎月22日(1月・9月号は発行日の変更あり)
- 発行部数：5,000部/月
- 本体価格：2,500円/号・27,000円/年間購読
- 購読方法：年間購読/書店販売/ECサイト
- 判型：B5判/無線綴じ
- 全ページオールカラー
- 企画協力：一般社団法人スマートエネルギー産業振興機構

会社概要

- 名称：日本食糧新聞社グループ
株式会社日本出版制作センター
- 所在地：〒101-0051
東京都千代田区神田神保町2-5北沢ビル4F
TEL 03-3234-6901 FAX 03-5210-7718
(JETI編集部) TEL03-3237-6166
- 設立：昭和49年2月
- 事業内容：書籍、雑誌など印刷物全般の編集制作

ごあいさつ

技術総合誌「月刊 JETI」は 1952 年の創刊以来、主として、エネルギー・素材分野などの業界で活躍の方々に支えられ、67 年の長きにわたり発刊を継続してまいりました。この間に発行元の変更が 2 回程ありましたが、2017 年春から半年程度の充電期間を経て、2017 年 10 月号から日本出版制作センターを発行元とし再スタートいたしました。復刊にあたっては、多くの購読者様、広告スポンサー様より激励と御支援をいただきました。復刊 1 周年を無事に迎えられましたことは、皆さまの御支援の賜物と拝し、衷心より感謝申し上げますとともに、復刊 1 周年の御挨拶とさせていただきます。

編集ポリシー

2020 年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けての都市開発、異常気象による災害被災地の復旧復興、AI・ロボットの普及等に伴う社会生活の変革など、エンジニアリング業界に求められるニーズは多岐・広範囲に拡大しております。「月刊 JETI」は副題を「ものづくり・産業技術専門誌 / Japan Engineering & Technology Intelligence」と改訂し、工学専門分野をベースに、エネルギー工学、材料工学、自動車工学、環境工学、建築工学、電子工学、電気工学、IT 工学、ロボット工学、化学工学、ナノ工学、生命工学、農業工学、食品工学、測定分析工学、航空工学、宇宙工学等の諸分野・諸業種を総合的、横串的に俯瞰できる特集づくりを行うとともに、毎月号において、ニーズに応え得る関連業界の最新動向、製品情報を発信して参ります。また、時流を先取りした最新技術の話題も特集・企画記事等に加えることにより、なお一層、技術者・研究者の皆さまに貢献できるコンテンツ作りに取り組んで参ります。

(月刊 JETI 編集部)

月刊 JETI の沿革

- 1952 年：月刊 JETI 前身となる「石油と石油化学」創刊
 - 1988 年：JETI に誌名を変更し、(株)ジェティより発行
 - 2017 年 3 月：月刊 JETI 休刊
 - 2017 年 5 月：日本出版制作センターが月刊 JETI の発行を引継
 - 2017 年 6 月：(一社) スマートエネルギー産業振興機構と提携、挨拶回りスタート
 - 2017 年 9 月 22 日：10 月号として復刊
- ◆パワーアップした新 JETI を業界情報の収集、貴社の PR にご活用ください！

バックナンバーの特集企画と執筆者リスト

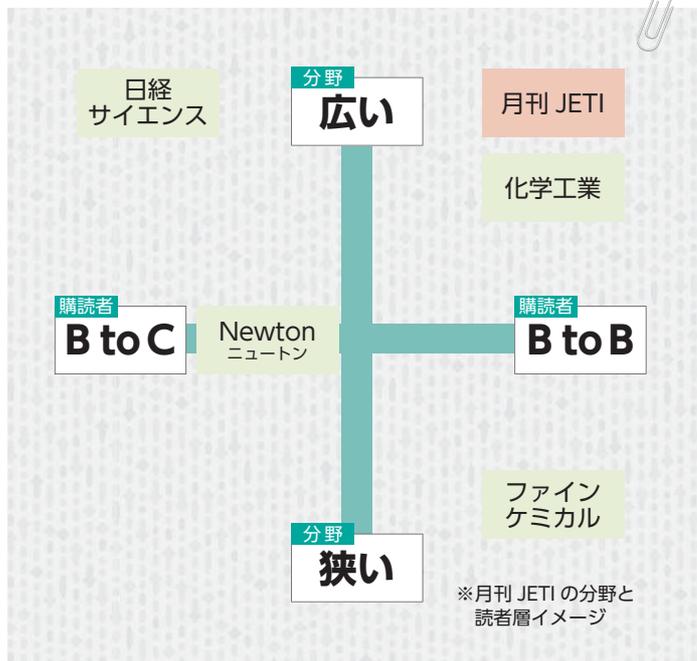
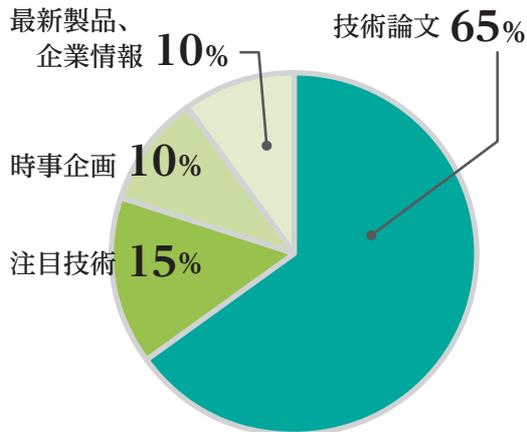
自動車、AI・ロボット、ライフサイエンスなど、
新しい特集も企画しています。

2017年	特集名	執筆者所属先リスト
10月号	●触媒の最新技術とゼオライトの用途展開 ●塗料材料と技術の最新動向 ●接着剤と接着技術の最新動向	触媒工業協会 / 九州大学 / 島根県産業技術センター / 凸版印刷 荒川化学工業 / 楠本化成 / 第一工業製薬 日本接着剤工業会 / 東洋紡 / ダイセル・エポニック / セメダイン / 他
11月号	●新エネルギー (電力産業・コージェネ・風力・ソーラー) ●二次電池 (リチウムイオン二次電池)	日本エネルギー経済研究所 / コージェネ財団 / ユーラスエナジーホールディングス / アルケマ / 日軽金アクト / 日置電機 / 川崎重工業 神戸製鋼所 / 楠本化成
12月号	●難燃技術・難燃剤 ●シリコーン材料 ●塩ビ樹脂・イオン交換樹脂・ウレタン樹脂	大日技研工業 / ADEKA / 沖エンジニアリング / UL Japan 東レ・ダウコーニング / フジクラ / 楠本化成 塩ビ工業・環境協会 / 室町ケミカル / 第一工業製薬 / 住化ケムテックス
2018年		
1月号	●2018年 エネルギー・化学産業の展望 ●環境技術・材料の最新動向 ●電子技術・材料の最新動向 ●バイメディカルの新技術	日本ガス協会 / 日本LPガス協会 / 日本エネルギー経済研究所 / 日本化学繊維協会 / 他 住原環境プラント / 堀場製作所 / 東洋紡 / 大日本塗料 / 神戸製鋼所 / 他 JSR / 東亜合成 / 利昌工業 / 長峰製作所 パナソニック・京都大学大学院 / 大陽日酸 / 東洋アルミニウム
2月号	●セルロースナノファイバー ●炭素繊維・炭素材料 ●洗浄技術・洗浄剤 ●水処理・排水処理技術	京都市産業技術研究所 / 第一工業製薬 / スギノマシン / 他 クレハ / 東邦テナックス / バンドー化学 / 楠本化成 / 他 花王 / 三洋化成工業 / 共栄社化学 / 第一工業製薬 オルガノ / 富士電機 / 東レ / ビュロライト / 栗本鐵工所・栗本商事 / 月島機械 / 他
3月号	●自動車技術・材料の最新動向 (I) ●建築技術・材料の最新動向 ●コンクリート・セメント材料動向	トヨタ自動車 / 日立オートモティブシステムズ / 日立製作所・クラリオン / 他 新日鉄住金エンジニアリング / 塩ビ工業・環境協会 / イトーキ / 他 鹿島建設・住友大阪セメント / トクヤマ・西部徳山生コンクリート / アイカ工業 / 他
4月号	●自動車技術・材料の最新動向 (II) ●触媒材料の最新動向 ●塗料材料・塗装技術の動向 ●接着剤・接着技術の動向 ●プラスチック添加剤の動向	トヨタ自動車・豊田汽車技術中心 / マツダ・京都工芸繊維大学 / NTN / 他 三井金属鉱業 / ニッポン高度紙工業 / 鯉コーポレーション / ササミック ADEKA / 中国塗料 / 久保孝ペイント / 楠本化成 / 三洋化成工業 / 大日本塗料 福岡県工業技術センター・野崎機器工業 / セメダイン / アイカ工業 四国化成工業 / 楠本化成 / 花王 / 大八化学工業
5月号	●ロボット技術の最新動向 ●AI・IT技術の最新動向 ●電子材料とディスプレイ材料の開発動向 ●新エネルギー発電と太陽電池の開発動向 ●二次電池技術および電力機器の開発動向	トヨタ自動車 / パナソニック / 川崎重工業・川崎機器人 NEC Corporation / 日本ユニシス 旭硝子 / 沖エンジニアリング / 林純薬工業 / 産業技術総合研究所 / 他 日本ユニシス / トリナ・ソーラー・ジャパン / トクヤマ / フジクラ / 他 埼玉県産業技術総合センター / 旭硝子 / 第一工業製薬 / 大陽日酸 / 他
6月号	●ナノ材料・ナノ技術の開発動向 ●高機能樹脂・フィルムの開発動向 ●ゴム・エラストマー材料の開発動向 ●難燃剤・難燃技術の製品動向	東北大学 / ホソカワミクロン / 岩手県工業技術センター / 他 日本ゼオン / 第一工業製薬 / 阪本薬品工業 / ロンシール工業 / 他 旭化成 / 豊田合成 / 日本バルカー工業・中部電力 / 横浜ゴム / プリヂェストン / 他 ロンシール工業 / ニチアス / ADEKA / 日本軽金属 / 他
7月号	●自動車技術の最新動向 ●環境技術の最新動向 ●電子材料・技術の開発動向 ●エネルギー関連の開発動向	マツダ / デンソー / 日本無線 / ジェイテクト / 豊田合成 / KYB / 他 新日鉄住金エンジニアリング / 住化ケムテックス / 三洋化成工業 / 他 DIC / 日立化成 / 東亜合成 / 秋田県産業技術センター 富士電機機器制御 / 日新電機 / 自然電力 / 日軽金アクト / オーバル
8月号	●ライフサイエンス産業の展望 ●ナノファイバー・炭素材料の開発と応用研究 ●高機能分離膜の開発と応用研究 ●洗浄技術・洗浄剤の開発と応用研究 ●UV/EB硬化技術の開発と応用研究	富士フィルム / 横河電機 / 島津製作所 / エポニック ジャパン / 静岡大学 / 他 首都大学東京 / クレハ / 楠本化成 / 帝人フロンティア / 東洋炭素 東洋紡 / クラレ / 帝人 / オルガノ 山梨県産業技術センター・山梨県環境科学検査センター / 花王 / 第一工業製薬 荒川化学工業 / アイカ工業 / 東亜合成
9月号	●自動車技術・材料の開発動向と応用製品 ●耐震・制振技術の開発動向と応用製品 ●建築支援技術と材料の開発動向 ●ビル管理と空調システムの開発動向 ●測定・分析技術の開発動向と応用製品	デンソー・筑波大学 / JFE スチール / ジェイテクト / 日本カーリット / 他 竹中工務店 / カヤバシステムマシナリー / 川田工業 / IHI インフラシステム / 他 大成建設 / 川田テクノロジー / 竹中工務 / JFE 鋼板 / 旭有機材 / アイカ工業 日立ビルシステム / アズビル / ノーリツ 大陽日酸 / アズビル / 住化分析センター / オーバル / 横河電機 / 東亜ディーケーケー

(敬称略)

記事構成図と紙面紹介

最新の論文、技術、製品情報が多数掲載！！



▶ 本文イメージ 1 (論文形式)

特集 ライフサイエンス産業の展望 分析・評価システム開発研究

ライフサイエンス研究用新世代レーザスキャナシステムの開発

高松 正樹 (たかまつ・まさき)
田中 康武 (たなか・やすたけ)
小林 尚志 (こばやし・たかし)
石川 弘美 (いしかわ・ひろみ)
山口 晃 (やまぐち・あきら)

富士フイルム (株) ライフサイエンス事業部

1. はじめに

生化学、分子生物学分野において、放射性同位体 (以下、RI) や蛍光色素で標識したタンパク質や DNA、RNA を電気泳動により分離し、その分離パターンを画像化して解析する手法がよく用いられる。また、創薬分野においては、RI 標識した薬物をマウスなどに投与し、その体内分布を画像化して薬物動態を解析する手法が用いられる。

富士フイルムのライフサイエンス用レーザスキャナ開発は、RI 標識したサンプルの画像化を目的に始まった。1987 年、医療用 X 線画像解析装置である FCR システムの技術をベースに、RI 露光したイメージングプレート (フォスファスクリーン) をスキャンし、画像化する装置として「BA-100」を開発した。BA-100 は主に市場探索が目的であったが、1989 年、「BAS-2000」の開発により市場を確立し、その後 BAS シリーズを展開した。さらに 1997 年には、写真プリントシステムで実用化した当社開発の青レーザ、緑レーザを搭載した「FLA-2000」を開発することで、蛍光物質で標識したサンプルの画像化にも対応し、FLA シリーズへと発展させた。

2009 年からは、富士フイルムは GE ヘルスクエアバイオサイエンスとバイオサイエンス分野の画像解析システムの事業についてグローバル提携し¹⁾、レーザスキャナタイプの画像解析装置「Typhoon FLA7000/9000/9500」、およびイメージングプレートの画像を消去するための消去機「FLA Image Eraser」を富士フイルムが開発、製造し、GE ヘル

スクエアにて販売してきた。これらの後継機種として、新たなコンセプトで検出感度の改善・多用途性・使いやすさを追求した新世代レーザスキャナシステム「Amersham Typhoon」シリーズ、消去機「Amersham Eraser」を開発し、2016 年 10 月に GE ヘルスクエアより販売を開始した。本報告ではそのレーザスキャナシステムの構成・スキャナ光学系・新機能・使いやすい GUI について、その特徴を紹介する。

Fig. 1 External appearance of Amersham Typhoon and Amersham Eraser

2. システム構成

Amersham Typhoon および Amersham Eraser の外観を Fig.1 に示す。Amersham Eraser はサンプルステージ (後述) を保管するためのキャビネットの上に載せ、Amersham Typhoon と並べて配置することが可能であり、全体で統一感のあるデザインを実現している。なお Amersham Typhoon および Amersham Eraser の主な仕様を、それぞれ Table

Vol. 66, No.8 (2018) JETI 11

▶ 本文イメージ 1 (製品紹介形式)

特集 二次電池技術および電力機器の開発動向

高温超電導電力機器冷却用 10 kW 級冷凍機

大陽日酸株

1. はじめに

電力分野では、送電システムの容量増強や損失低減、系統安定化などの解決策の一つとして高温超電導電線を採用した電力機器の開発が進んで実施されている。超電導を利用した電力機器を実用化するためには、冷度温度が -200℃ 以下において 2~10 kW の冷凍能力を有する冷凍機が必要不可欠である。

当社は、2.3 kW 級の冷凍機に代わり、2016 年 7 月に 10 kW 級冷凍機 (NeoKelvin® - Turbo 10kW) を商品化し販売を開始した。

2. 冷凍機の特長と仕様

本装置は、冷凍にネオンガスを使用し、2 台のタービンコンプレッサ (ターボ回転機) により冷凍ガスを圧縮・膨張させるターボプレントサイクルの冷凍機である。第 1 図に冷凍機の外観を示す。冷凍機の特長は以下の通りである。

- 1) 圧縮部と膨張部が一軸に連結されたタービンコンプレッサは、主軸を介して膨張エネルギーをダイレクトに圧縮エネルギーへ伝達でき高効率が得られる。
- 2) タービンコンプレッサの軸心に互軸制御用伝動受を採用することで、主軸を非接触で高精度に駆動させることができ、メンテナンス期間の長期化を実現できる。
- 3) タービンコンプレッサの回転数をインバータにより制御することで、冷凍能力を自由に調整することができる。

3. 冷却システム

冷凍機を使用した超電導送電ケーブルの冷却システムを第 2 図に示す。送電ケーブルを冷却し温度が上昇した液体窒素は冷凍機により冷却され再び送電ケーブルへ送り出される。

供給する液体窒素の温度を冷凍機により一定に制御することで、送電ケーブルは超電導状態を維持することが可能となる。

2016 年には当社の試作冷凍機を用いて、韓国電力・LS ケーブルとの共同プロジェクトにおいて韓国の済州島に敷設された 1 km 級の超電導送電ケーブルの冷却・送電試験を 8 か月間実施した。プレイン冷凍機を使用した 1 km 級の実証試験は世界初のことであり、冷凍機の運用実績を得られたことで当社の技術力を世界へ示すことができた。

また、2017 年 5 月 19 日には、本冷凍機に搭載されたタービンコンプレッサの技術力が認められ、一般社団法人ターボ機械協会より技術賞を受賞した。

第 2 図 Cooling system

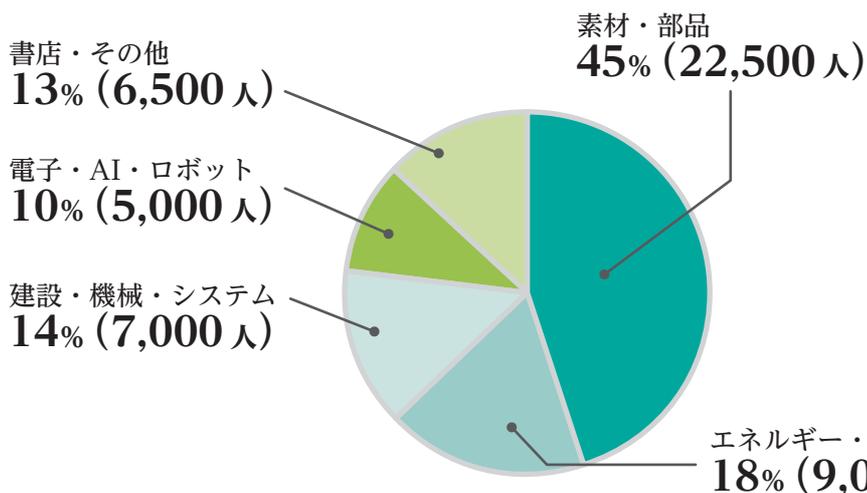
(開発本部 プロジェクト推進統括部 超電導プロジェクト 統括 倉谷)
(開発本部 プロジェクト推進統括部 超電導プロジェクト TEL:029-877-2119)

第 1 図 NeoKelvin®-Turbo 10kW

2017 年 10 月号より誌面をカラー化。写真や図がより分かりやすくなりました。

主な読者：分野別構成

様々な分野からご愛読いただいています。



構成：○○%（読者人数○○人）
※読者人数（合計5万人）はアンケートを基にした推定です。

弊社 HP の他、全国の書店、インターネットでもご購入いただけます

主な読者（企業・団体）

ケミカル

アイカ工業
旭化成
旭硝子
ADEKA
荒川化学工業
アルケマ
宇部エクシモ
エポニック ジャパン
塩ビ工業・環境協会
関西ペイント
楠本化成
クラレ
クレハ
三洋化成工業
JSR
城北化学工業
信越化学工業
大日本塗料
帝人
東レ
東レ・デュボン
トクヤマ
長峰製作所
日揮触媒化成
日本軽金属
日本ペイント HD
富士フィルム
三菱ケミカル
明和産業
ランクセス
リンテック

エネルギー・環境・プラント

出光興産
大阪ガス

オーバル
オルガノ
カーリット HD
木村化工機
コスモエネルギー HD
自然電力グループ
新コスモス電機
大陽日酸
東京ガス
日揮
日本 LP ガス協会
日本ガス協会
三菱ガス化学

自動車・輸送機器

いすゞ自動車
NTN
川崎重工業
クラリオン
KYB
ジェイテクト
デンソー
豊田合成
トヨタ自動車
トレクセルジャパン
日野自動車
ブリヂストン
マツダ
ヤマハ発動機
横浜ゴム

建築・建材

旭有機材
イトーキ

エスイーシー・エレベーター
鹿島建設
クボタケミテックス
川田工業
川田エンジニアリング
三和シャッター工業
JFE スチール
新日鉄住金エンジニアリング
大成建設
太平洋セメント
竹中工務店
ノーリツ
フジクラ
古河機械金属

電子・AI・ロボット

NEC
沖エンジニアリング
沖電気工業
住友電気工業
日本ユニシス
パナソニック
日立化成
日立製作所
富士通
富士電機
三菱電機
安川電機
利昌工業

機械・機器

IHI
アズビル
オーバル

神戸製鋼所
島津製作所
月島機械
東亜ディーケーケー
北斗電工
堀場製作所
丸和電機
横河電機
リオン

大学・研究機関

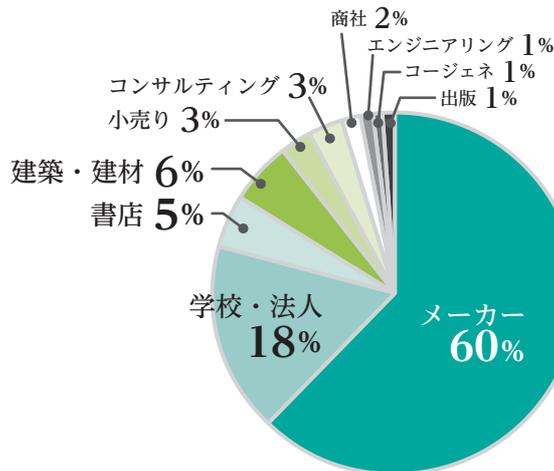
足利工業大学
大阪工業大学
岡山大学
北見工業大学
九州大学
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
芝浦工業大学
中央大学
筑波大学
東京電機大学
東京大学
東京農業大学
名古屋大学
日本エネルギー経済研究所
日本自動車研究所
NEDO
広島大学
北海道大学
明治大学
横浜国立大学
早稲田大学

その他

（敬称略・五十音順・一部抜粋）

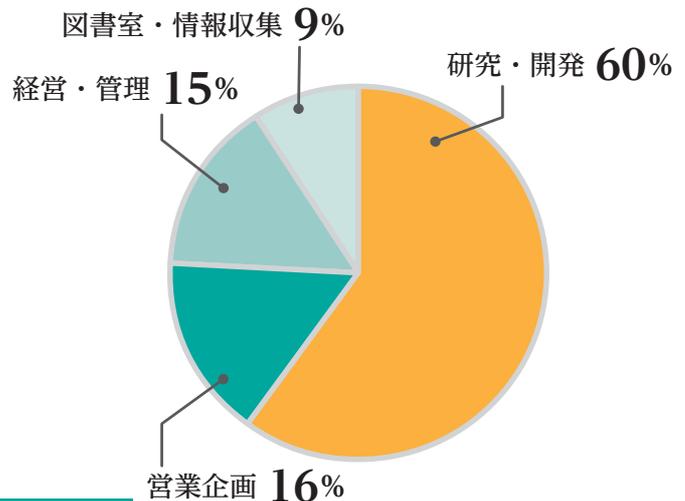
主な読者：業種別構成

メーカー、学校・法人、商社、など
あらゆる業種を網羅！



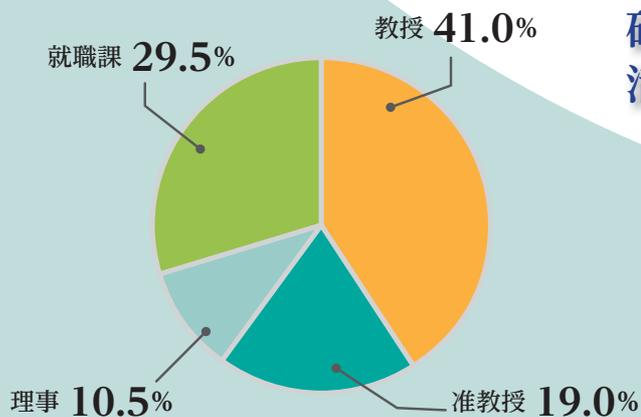
主な読者：企業職種別構成

自社製品開発の応用に、
他業界調査、
研究資料として
読まれています。



主な読者：大学・法人読者構成

研究や企業研究に
活用されています。



POINT

幅広い分野の**業界研究者**・関係者へ PR

業界への就職を目指す**就活生**へのイメージアップ

メーカーとユーザーの間を結ぶ、業界唯一の**総合誌**

他業界の新製品、トレンドを基に**シナジー効果**を得られます

▶ 広告イメージ (全ページ・モノクロ)



▶ 本文イメージ1 (製品紹介形式)



■ 広告出稿に関する問合せ

日本出版制作センター JETI 編集部

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-5 北沢ビル 4階

TEL 03 (3237) 6166

FAX 03 (5210) 7718

E-mail: jeti@center.email.ne.jp

担当: 岡本



▶ 月刊食品工場長
とのタイアップも可能です

衛生管理、品質保証、人材育成などの情報を網羅。現場と消費者ニーズの双方の視点で食品工場に必要な情報をタイムリーに提供します。

広告出稿実績企業一覧

▶ 2018年8月号までの実績（敬称略・五十音順）

AGC コーテック
 ADEKA
 BOT
 DIC
 GCP ケミカルズ
 GLI
 Haldor Topsoe A/S
 IHI
 JNC
 JSP
 juwi 自然電力オペレーション
 JXTG エネルギー
 KBC プロセス・テクノロジー・リミテッド日本支社
 NHV コーポレーション
 PS ジャパン
 UACJ
 UL Japan
 ZE エナジー
 昭島化学工業
 アクサルタコーティングシステムズ
 旭化成
 旭化成ワッカーシリコーン
 旭有機材
 味の素ファインテクノ
 荒川化学工業
 アルケマ
 出光興産
 岩谷産業
 岩崎電気
 宇部興産
 エア・ブラウン
 エアロセンス
 エーディーシー
 エスケー化研
 エヌ・イー ケムキャット
 エポニック ジャパン
 塩ビ工業・環境協会
 大阪ガス
 大阪有機化学工業
 オーバル
 オーウエル
 オルガノ
 花王
 勝田化工
 カネカ
 川研ファインケミカル
 川崎重工業
 カワサキマシンシステムズ
 川重商事
 関西ペイント
 協和化学工業
 楠本化成
 久保孝ペイント
 クラリアント触媒
 クラレ

クレハ
 クレハトレーディング
 黒金化成
 ケミテック
 興亜硝子
 一般財団法人コージェネレーション・
 エネルギー高度利用センター
 神島化学工業
 コスモエネルギーホールディングス
 コスモテクノロジー
 コニシ
 堺化学工業
 阪本薬品工業
 三洋化成工業
 シーザーエスター
 ジェイ・プラス
 シェルケミカルズジャパン
 シプロ化成
 一般社団法人触媒工業協会
 島根県産業技術センター
 城北化学工業
 昭和シェル石油
 昭和電工
 新石会
 信越化学工業
 新コスモス電機
 新第一塩ビ
 新日鉄住金化学
 新日本空調
 新日本理化
 スズカファイン
 鈴裕化学
 住化ケムテックス
 住友ベークライト
 スリーボンド
 積水化成成品工業
 セメダイン
 ソーダニッカ
 ソンウォンインターナショナルジャパン
 第一工業製薬
 大成社
 大成ファインケミカル
 ダイセル
 ダイセル・エポニック
 ダイセルポリマー
 大日本塗料
 大八化学工業
 大福工業
 大明化学工業
 大洋塩ビ
 太陽日酸
 大和化学工業
 タケエイ
 田中貴金属工業
 中国塗料

帝人
 デンカ
 東亜合成
 東亜ディーケーケー
 東京ガス
 東芝キャリア
 東ソー
 東邦化学工業
 東邦ガス
 東洋アルミエコープロダクツ
 東洋アルミニウム
 東洋熱工業
 東レ
 東レエンジニアリング
 トクヤマ
 凸版印刷
 長瀬産業
 西村ケミテック
 ニチアス
 日油
 日揮ユニバーサル
 日揮触媒化成
 日軽金アクト
 日軽パネルシステム
 日興リカ
 日産化学
 日祥
 日東化成
 日東粉化商事 / 日東粉化工業
 日本エアプロダクツ
 日本LPガス協会
 日本化薬
 一般社団法人日本ガス協会
 日本軽金属
 日本ケッチェン
 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
 日本触媒
 日本製紙
 日本特殊塗料
 一般社団法人日本塗料工業会
 日本難燃剤協会
 日本バイオプラスチック協会
 日本ペイントホールディングス
 日本ペイントマリン
 野村事務所
 ハイケム
 伯東
 発泡スチロール協会
 ハリマ化成グループ
 林純薬工業
 ピー・ティ・アイ・ジャパン
 日置電機
 日立アプライアンス
 日立造船
 ピュロライト

プライムポリマー
 プラナース ジャパン
 フローリック
 ホープ製薬
 北興化学工業
 堀場製作所
 ポリプラスチックス
 マイクロ波化学
 松尾産業
 水澤化学工業
 三井化学
 三井化学ファイン
 三井金属資源開発
 三井造船
 三井物産ケミカル
 三菱アルミニウム
 三菱エンジニアリングプラスチックス
 三菱ケミカル
 三菱ケミカルリサーチ
 三菱重工エンジン&ターボチャージャ
 三菱重工業
 三菱電機
 三菱マテリアル
 室町ケミカル
 明和産業
 メック
 モンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン
 ユーラスエナジーホールディングス
 ユニオン昭和
 ユニチカ
 ユングブントラワー・ジャパン
 横河電機
 横浜ゴム
 ランケセス
 ランケセス・ソリューションズ・ジャパン
 利昌工業
 硫酸協会
 菱晃
 レンゴー
 ロンザジャパン

月刊 JETI: 広告料金表 (B5 サイズ) (税別)

業界唯一の“総合誌”をご活用下さい。

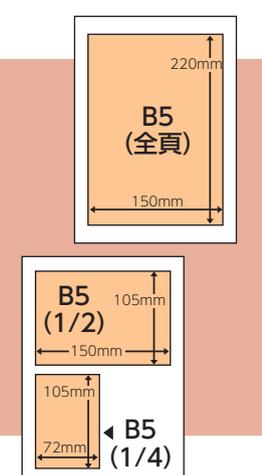
	掲載場所	色	紙	スペース	天地 (m/m)	左右 (m/m)	単月定価	半年契約※1	年間契約※2	番号
表紙	表 4 カラー※2	4C	コート厚紙	全・変型 断ち落とし	207	182	600,000	2,880,000	5,040,000	A1
	表 2・表 3 カラー	4C	コート厚紙	全	220	150	500,000	2,400,000	4,200,000	A2
巻頭	巻頭カラー	4C	コート	全	220	150	400,000	1,920,000	3,360,000	A3
		4C	コート	1/2	105	150	200,000	960,000	1,680,000	A4
	巻頭	1C	コート	全	220	150	250,000	1,200,000	2,100,000	A5
		1C	コート	1/2	105	150	150,000	720,000	1,260,000	A6
特殊頁	目次下カラー	4C	コート	1/3	75	150	150,000	720,000	1,260,000	C1
	目次下	1C	コート	1/3	75	150	100,000	480,000	840,000	C2
	目次後カラー	4C	コート	全	220	150	400,000	1,920,000	3,360,000	C3
		4C	コート	1/2	105	150	200,000	720,000	1,260,000	C4
	目次後	1C	コート	全	220	150	300,000	1,440,000	2,520,000	C5
		1C	コート	1/2	105	150	150,000	720,000	1,260,000	C6
普通頁	本文内カラー	4C	コート	全	220	150	300,000	1,440,000	2,520,000	D1
		4C	コート	1/2	105	150	150,000	720,000	1,260,000	D2
	本文内	1C	コート	全	220	150	200,000	960,000	1,680,000	D3
		1C	コート	1/2	105	150	100,000	480,000	840,000	D4
		1C	コート	1/4	105	72	50,000	240,000	420,000	D5
巻末	巻末カラー	4C	コート	全	220	150	300,000	1,440,000	2,520,000	E1
		4C	コート	1/2	105	150	150,000	720,000	1,260,000	E2
	巻末	1C	コート	全	220	150	200,000	960,000	1,680,000	E3
		1C	コート	1/2	105	150	100,000	480,000	840,000	E4

※1 半年契約は単月定価の6カ月分の料金の20% offです。 ※2 年間契約は単月定価の12カ月分の料金の30% offです。どちらも1月、4月、7月、10月発行の臨時増刊号は含まれません。 ※3 表4のサイズは下以外の断ち落とし3ミリを設定してください。

広告出稿のご案内

広告申込から発行までの流れ

- ① 締切日までに申込をお願い致します。(別紙申込書あり)
- ② 担当から広告データの入稿方法についてご連絡致します。
- ③ 広告データを入稿。完全データでお願い致します。
(弊社でも制作可能です。別途制作費がかかります。下記参照)
- ④ 広告原稿の校正紙をお送りしますのでご確認ください。
(FAX 送信・PDF メール送信)
- ⑤ 校了後、下版。
- ⑥ 本の発行と同時に寄贈誌と請求書をお送り致します。



- 広告制作料金 ラフ原稿での入稿は別途制作費がかかります(税別)。
全頁4C/1万5,000円、全頁/1万円、1/2頁/7,000円、1/3頁・1/4頁/3,500円
- B5の仕上がり寸法(断ち落としサイズ)は天地257mm×左右182mm。
- データ(CD)入稿の際は、出力見本紙に制作した機種(OS)名とソフト名・バージョンを明記して下さい。
(例: マッキントッシュOS 10.2、イラストレーター CS6)。
また、写真はCMYKのepsデータ埋め込み、文字はすべてアウトラインをとって下さい。
- 原則としてCD、写真等は返却致しません。
- 特殊指定、その他わからないことがございましたらお問い合わせください。

企画協力 (一社)スマートエネルギー産業振興機構

一般社団法人スマートエネルギー産業振興機構は、スマートグリッド技術を活用した自然エネルギー・次世代エネルギー産業を普及・育成するとともに、関連する産業を振興することを目的として、2015年5月に設立された。

1. 自然エネルギー発電所の建設支援およびソリューションの提供
2. 次世代エネルギー（水素エネルギー・燃料電池等）の開発支援
3. スマートグリッド化への取り組みと応用開発
4. 市民発電所の事業化と建設支援
5. エコカー、燃料電池、高性能バッテリー、キャパシタ等の技術開発と支援
6. エネルギー関連部材（電池・モータ・磁石・レアメタル等）の調達と開発支援
7. 自然エネルギー・次世代エネルギー普及・促進における各種ソリューションの提供

住所：〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-49-7 池袋パークビル1F
(会長：関 和希、執行代表：伊達 陸宏)

スマートエネルギー産業振興機構 活動実績

【セミナー事業】

KTZ EXPRESS SEMINAR

2017年4月25日、駐日カザフスタン大使を招き、カザフスタン国営鉄道大陸横断鉄道輸送とアジア-欧州間の新たな貿易ルート確立を目指す「ニュー・シルク・ウエー・プロジェクト」の紹介セミナーを開催。

【東京タワー・キッズ環境科学博士】

子供達に未来エネルギー発見と環境リサイクルの大切さを学んでもらう社会貢献型イベント。未来の水素社会ジオラマ、絶滅巨鳥の巨大卵や恐竜化石の展示、遊びながら学びリサイクル教室を開催。
場所：東京タワー

来場者数：約 12,000 名（※ 2017 年実績）

【自治体支援事業】

地方創生助成金等を活用し、風力発電・小水力発電・太陽光発電等を組み合わせたハイブリッド発電システムを、長野県青木村の施設に設置し、実証実験を行う支援プロジェクトを関会長を中心に実施している。

日本出版制作センター JETI 編集部

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-5 北沢ビル 4 階

TEL 03 (3237) 6166

FAX 03 (5210) 7718

E-mail : jeti@center.email.ne.jp